



## 武蔵野統括センター設置に関する申し入れ 交渉開催！

申16号

### 1. 武蔵野運輸区発足後の成果と課題を具体的に示すこと。

【回答】安全・安定輸送のレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制を実現することを目指しているところである。

【ポイント】成果については、運転士と車掌が一緒の職場になり訓練などより具体的に安全レベルが向上し、相互運用のできるものになった。しかし、繰り返しの交渉を行ってきたが、何一つ変わっていない現状である。いながしで、リラックスできる職場ではない。起床遅延が発生したが、起床装置をセットしていないのとアラームの故障が原因なのか、原因が究明されず、周知がされていない。ライン管理について、まずは乗務員の運用から進めている。職場が決めたルールは守ってほしい。

### 2. 武蔵野統括センターを設置することで安全・サービスレベルが向上する根拠を具体的に示すこと。

【回答】これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方の実現により、安全・サービスレベルの向上を図っていく考えである。また、その実現に、事業分野や役割分担を超えた業務の融合と連携をこれまで以上に進めていく。

【ポイント】乗り継ぎ時間僅少が多く、食事・トイレに行けない行路が作成されて余裕をもって仕事ができない職場である。指導員の事象など、隠すように社員に周知しない体質である。これまでは武蔵野運輸区発足 PT にて検討してきたが、全ての社員の意見は聞けていない。

### 3. 統括センター化により業務量が増加するのかを具体的に示すこと。また、現在も継続的に要員不足が発生していることから、職場現実に踏まえた業務量にするとともに、不足する要員確保による正常な業務運営ができる職場環境とすること。

【回答】今後も業務の融合と連携を推進し、一人ひとりの社員が自分の能力を伸ばし活かせるような働き方を実現し、更なる生産性の向上を図ると共に新たな価値創造に取り組んでいく考えである。なお、業務の運営に必要な要員は確保している。

【ポイント】新しく取り組む業務については車内点検である。引き続き、駅との相互運用に取り組んでいく。駅で勤務している運転士・車掌の経験者は乗務することは可能なのか？可能であるが、箇所での判断になる。

### 4. 職場ごとの業務量・必要な要員数を具体的に示すこと。

【回答】体制については提案時に示したとおりである。なお、業務の運営に必要な要員は確保している。

【ポイント】会社の回答にある必要な要員は確保していると言っているが、職場では毎日のように休日出勤が発生している。管理者や指導員なども乗務をしないと回らない状況である。穴埋め要員になっている。会社としては要員については確保できていると考えている。年間の平均を出して確保している。(対立！)4月から「育児・介護」の制度が改正になるが、制度を活用する社員が気兼ねなく利用できるものなのか？予備者がいるということは必要な要員は確保できている。制度を活用する社員を後押しできるようにしていく。

(その2)に続く

# Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2025.03.14

No.140



## 武蔵野統括センター設置に関する申し入れ 交渉開催！

申16号 (その2)

5. 乗務員が行路内での「その他時間」で実施する業務内容を具体的に示すこと。また、その業務を実施するにあたり実施する教育・訓練内容を具体的に示すこと。

【回答】 今後も業務の融合と連携を推進し、一人ひとりの社員が自分の能力を伸ばし活かせるような働き方を実現し、更なる生産性の向上を図ると共に新たな価値創造に取り組んでいく考えである。なお、引き続き、必要な教育・訓練は実施していく。

【ポイント】 「その他時間」については管理者の指示になる。今回、新たに車内点検を行うが、乗務員一人で行っていただく。女性の社員も安全に行えるようにカメラなどで監視できるように検討している。ダイヤ改正から一人でやっていただく。駅が一緒に行わず、何か緊急の対応の時はすぐに駆け付ける体制は取れている。

6. 武蔵野統括センターにおける指揮命令系統を具体的に示すこと。

【回答】 指揮命令系統については、就業規則等に則り取り扱うこととなる。

【ポイント】 先日の倒木での指揮命令系統について、誰が指示を指令からもらっているのかわからない時があった。職場と連携が取れるように検討していく。武蔵野統括センター所長は新たに赴任する。

7. 武蔵野統括センター発足後の事務担当社員の執務場所と担当する業務内容について具体的に示すこと。

【回答】 武蔵野統括センター発足後は、企画セクションの中で企画事務業務に従事することとなる。また、執務場所は、東所沢駅の一部スペースを予定している。

【ポイント】 企画事務を担当してもらう社員は、立川統括センターと同じように制服ではなく、私服で業務をしてもらう。基本は東所沢駅の業務になるが、制服の貸与など時間がかかる場合など運輸にて教務を行う場合がある。

8. 武蔵野統括センター設置に向けて活動しているワーキンググループの活動内容や議論内容が周知されていないことから、全社員に具体的に周知すること。また、武蔵野統括センター設置までに実施される教育・訓練・設備移転などの社員に関する事柄について、スケジュールを含めて具体的に示し、社員の不安解消に努めること。

【回答】 引き続き、必要な周知は行っていく。

また、引き続き、必要な教育・訓練は実施していく。

【ポイント】 ワーキンググループについて活動している内容についてお知らせだけで全く見えない状況である。本日の交渉で議論した内容が職場でも議論できるように支社として職場に指導するべきである。ワーキンググループは、職場がより良いものになるように活動している。意見は承った。

**会社が目指す、効率的な執行体制の強行により、現場で働く組合員は、安全・働きがいを  
持たずに不安が募るばかりであります。一部の社員の意見ばかりの施策では解決することは  
できません。諦めず健全な職場の運営を目指し、組織の拡大を確立していきましょう！**